

## 日本語教師養成サブコース履修者へのアンケート調査（2024年3月）結果

### 1. 回答者

回答者数：5名（対象者7名）

回答率：71.43%

回答者の内訳：

- ① コース：文化人類学コース（1名）、言語コミュニケーション（2名）、感性コミュニケーション（1名）外国語教育コンテンツ論コース（1名）
- ② 属性：日本人学生（2名）、社会人学生（1名）、留学生（2名）

### 2. 質問紙の構成

履修前、履修中、履修後の3つのカテゴリーに分け、それぞれ大問4～5問、計14問（小問含め19問）から構成

### 3. 結果

#### 3-1. 履修前

**履修前1.** 大学院での専攻について、次の①と②にお答えください。

① 大学院での専攻（コース）は何ですか（選択）

1. 回答者の内訳参照

② 大学院でのあなたの専攻（研究テーマ）は、日本語教育と関係するものだと思いますか。関係すると思う場合は「はい」、そうでない場合は「いいえ」とお答えください（選択）

はい	3
いいえ	2

履修前 2. 日本語教師養成サブコース履修前は、日本語教育に関してどのような経験がありましたか。(複数選択可)

項目	A 日本語教授	B 言語教授	C 日本語教育に関する学習	D 言語教育に関する学習	E 日本国内交流	F 海外交流	G 日本語学習	H 日本語学学習	I 特になし	J その他
回答数	2	3	1	3	3	4	2	3	0	0

履修前 3. 上記の 2 で、A・C を選択しなかった人にお聞きします。日本語教師養成サブコース履修前は、日本語教育についてどのようなイメージ・考えを持っていましたか。自由に記述してください。

外国人が増えるなか、彼らが日本人と共に経済的にも精神的にも豊かな生活ができるようになるために今の日本に必要な教育である。しかし、実態はボランティアや、過労な日本語学校講師によって持続可能とはいえない形で支えられているようだ、というイメージ。	単位修得が楽そう。
--	-----------

履修前 4. 日本語教師養成サブコースのことをどのようにして知りましたか(複数選択可)

項目	A オープンキャンパス	B ホームページ	C パンフレット	D 新入生ガイダンス	E 先輩や友人	F 研究科教員	G 研究科職員	H その他
回答数	2	1	0	3	0	2	0	0

履修前 5. 日本語教師養成サブコースを履修しようと思った理由は何ですか。自由に記述してください。

海外で働く選択肢の一つにするため、母語をメタ的に理解するため、外国語の勉強が好きで日本で暮らす外国人の友だちも多いので興味があったため
日本語教育者へのあこがれ 履修の証明で日本語教育資格の試験の免除ができると聞いたから
民間の日本語教師養成講座で学んだ内容をもっと深く学びたいと考えたので。
地元で日本語の高等教育機関はこの間まで存在していませんでした。自身が学生の頃、州立大学にある語学学校で元学生でもあるボランティア支援者の方々から学び始めました。日本人や日系人が非常に少ない地域でもあり、大学において勉強会の形で日本語教育活動を行っているグループに入ってから、教えることになりました。国際交流基金のブラジルにおける教育推進や日本国内における日本語教育研修プログラムに参加する機会が与えられ、知識的に不足していることを知ることができました。経済的かつ人材的に厳しく、教材も簡単に手に入らない環境でしたので、サブコースを契機に不足しているところを補うことができると思い、履修することにしました。また、大学を卒業してから、市立人材開発部、語学学校、中学校に勤めて英語も教えた経験があり、サブコースでの学習で外国語教師してブラッシュアップもできると思っています。
単位を簡単に取り揃えられそうだったから。

### 3-2. 履修中

**履修中 1.** 日本語教師養成サブコースの科目の履修方法を理解するのは、難しかったですか（選択）

【例】 A・Dの領域別科目の選択や対象科目の選択など

選択肢	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったくそう思わない
回答数	0	2	1	2	0

**履修中 2.** 自分の専攻に関する学習（研究）と日本語教師養成サブコース履修科目に関する学習の両立は難しかったですか。次の①～③につ

いてお答えください。(選択)

- ① 時間割の編成上、授業を取ることが難しかった
- ② サブコース履修科目の内容が専門外のため、自分の専攻に関する学習（研究）と両立することが難しかった
- ③ サブコース履修科目の課題が多く、自分の専攻に関する学習（研究）と両立することが難しかった

選択肢		とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったくそう思わない
回答数	①	0	2	1	1	1
	②	0	0	2	1	2
	③	0	0	3	1	1

**履修中 3.** 日本語教師養成サブコースの科目として履修した授業の内容や学習が、自分の専攻に関する学習（研究）や進路などに何か影響をしましたか。「はい」を選んだ人は、その理由を具体的にお書きください。

はい	4
いいえ	1

「はい」の理由

自分の専攻の調査地であるタイ北部で、現地高校外国語コースの日本人日本語教師のもと数日間の研修を受ける機会に恵まれ、調査地と日本語教育の繋がりがみえた。また日本語を学習するタイの高校生の友人ができ、日本語教育を学ぶモチベーションにもなった。
サブコースの科目履修で学んだ海外での日本語教育事情や日本国内に在住の海外にルーツを持つ日本語を学習する子どもたちの実情などが、自身の研究内容である海外における継承日本語教育事情を知るための参考になりました。
文化面を重視した翻訳をテーマにしましたので、サブコースにおける異文化理解に関する学習は非常に役立ったと思います。
ドイツのインターンシップに行くきっかけになった上に、その日本語教育インターンシップを経て、決まっていた就職の内定を辞退してまで日本語教育に従事しようと決意しました。

履修中 4. 日本語教師養成サブコースの科目を履修することで、どのような知識や能力などを身につけることができましたか。該当するものをお選びください。(複数選択可)

項目	A 対学 習者コミ ュ能力	B 日本 語・言語 関心	C 日本 語・言語 鋭い感覚	D 国際 感覚・人 間性	E 専門 性・意義・ 情熱	F 言語 知識	G 言語 知識活用 能力	H 日本 語教授知 識	I 日本 語教授 知識活 用能力	J 背景 知識	K 背 景把握・ 分析	L その 他
回答数	3	4	4	3	3	4	3	4	2	2	4	0

履修中 5. 日本語教師養成サブコースの科目を履修中、日本語教育について思ったこと、感じたこと、気づいたことなどがありましたら、自由にお書きください。

日本語教育といっても前提として、(国立)大学の日本語教育、日本語学校の日本語教育、ボランティアなど地域の日本語教育、で状況や学習効果は異なる。ヨーロッパの移民政策と連動した税金で移民に無償で言語教育をする政策のメリットとデメリットを見極め、日本でも部分的に受容する必要性がありそう。自分の経験からだが、統計上ここ数年は中国韓国人の滞日人口は増えてはいないようだが、中国韓国の若者に関していえば就職のしやすさから日本語を学び日本で就活をする人が増えているのではないかと思う、日本でホワイトカラー職につく人に対する日本語教育を拡充させることにも意味がありそう。また外国での日本語教育、がテーマになることがあったが、社会の状況をみれば、趣味として学ぶが日本に働きに来ることのないヨーロッパ諸国などを対象に議論することに意義が感じられなかった(学習モチベーションや国際関係史の観点からなら意味はあるかもしれない)。

立派な日本語教育者になるのに実は幅広い専門知識が必要です。私たち外国人は精一杯それらを学び、将来日本で教師として働こうと思いきや、言語学校側から見ると私たちより知識がまったく持たないネイティブがいい。何とか日本語教師として就職できても、給料面は全然生活していけないぐらい低く、夢と現実のギャップに呆れた。

日本語教育について知識をインプットするだけではなく、実際に日本語を教えるという実践としてのアウトプットの重要性を感じました。また、日本語上級者の留学生たちと一緒に授業を受けることで得られた気づきがあり有意義でした。

たとえば外国における英語教育のような他のメジャーな外国語に比べたら、日本語教育は遅れていることは、特に感じました。世界 TOP10 の外国語学習に入っていますが、グローバル化社会の外国語教育のトレンドに対して一歩遅いです。だが、それは日本語の特異性、異文化交流、そして様々な社会的問題に関わっていると気づきました。

初級学習者に対して、一番最初にどのように教え始めれば良いのかわからなかったのが心残りでした。

### 3-3. 履修後

**履修後 1.** 日本語教師養成サブコースを履修・修了してよかったですか（選択）。その理由を具体的にお書きください。

選択肢	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったくそう思わない
回答数	3	2	0	0	0

その理由

日本語教育を取り巻く状況を多面的に理解できた。教えるまではいかずとも、外国人がどのように日本語を学ぶのか、については少しずつわかってきた。

夢のために頑張ったという感じ

サブコースを履修したことで、日本語教師を始める心構えを得ることができたので。

今まで受けることができなかった教育を受けるチャンスができて、日本語教育だけではなく、日本語、日本文化や社会、教育上の問題や解決方法について学ぶことができ、とてもよかったです。

サブコースを履修したことで、自分の見えている世界が広がったから。

**履修後 2.** あなたの現在の状況について、次の①～③にお答えください。（選択）

① どこに住んでいますか

日本	5
日本以外の国	0

② 特定の教育機関（大学院など）において、日本語教育に関連する学習（研究）をしますか。

はい	3
いいえ	2

③ 日本語教育に関連する仕事（正規・非正規）をしますか。あるいはそのための準備中ですか。

はい	4
いいえ	1

**履修後 3.** 将来、日本語教師養成サブコースで学んだことを活かしたいですか。※「はい」を選んだ人は、その理由を具体的にお書きください

はい	5
いいえ	0
わからない	0

「やさしい日本語」という概念が一番良い発見になった。外国人労働者や技能実習生、日本国内での外国人との軋轢など、問題だらけの状況だが、まず自分は外国の人に対し「やさしい日本語」を用いて真摯なコミュニケーションを取ろうという心構えが身に付いた。まだ教壇に立とうという気持ちにはなっていないが、周囲に日本語学習中の人が出て、誤解を生みそうな表現をしてしまうなどコミュニケーションの壁にぶつかっていたら、仲介にはいる、誤解を生まないベターな表現を提案する、じっくり聞いて意図をはかる、など日本語教育を学んで必要に感じた対応をしていきたい。

<p>せっかく知識から応用まで学んだので、現場に還元したいと思っています</p>
<p>民間の日本語学校で非常勤講師をするにあたり、サブコースでの実習経験が授業設計や授業準備に役立っています。また、教科書分析の発表時に取り扱った教科書（NEJ）が、現在教えている日本語学校で使われているので興味深く取り組むことができます。</p>
<p>教えることが好きです。地元でせよ、外国にせよ、私が持つ知識のような人材を必要とする機関があると思います。自分より質の高い教育を提供するために、できることがあったら、ぜひ社会に貢献したいと思っています。</p>
<p>大学教員として日本語を教えながら研究を続けたいからです。</p>

**履修後 4.** 日本語教師養成サブコースについて、ご意見がありましたら、自由に記述してください。履修前、履修中、履修後、どの段階でも構いません。

<p>言語系のコースでないと修了は厳しいと聞いていたが、科目の選択や、長期的な履修計画を組めば、無理なことではなかった。</p>	<p>ご指導ありがとうございました。</p>	<p>今後は修了生として尽力させていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
--	------------------------	---